

協会けんぽ青森支部からのお知らせ(令和3年7月)

# ジェネリック医薬品を使ってみませんか?



最近では、ジェネリック医薬品という言葉を目にする機会が増えてきました。

ジェネリック医薬品は、患者さんのお薬代の負担を軽減させるだけでなく、日本の医療保険制度を維持していくためにも、とても大切なお薬です。

## ジェネリック医薬品ってどんな薬?

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後につくられたお薬で、**先発医薬品と同一の有効成分を含み、効き目や安全性が同等であると厚生労働省に承認されています。**

新薬より開発期間と費用が少なく済むため、お薬代が**3～6割程度お安くなる場合があります。**

また、ジェネリック医薬品は医薬品メーカーによって、**お薬を飲みやすい形や大きさに変えるなどの工夫が図られています。**



## 慢性疾患の人は医療費の節約効果が大きいからおトク!

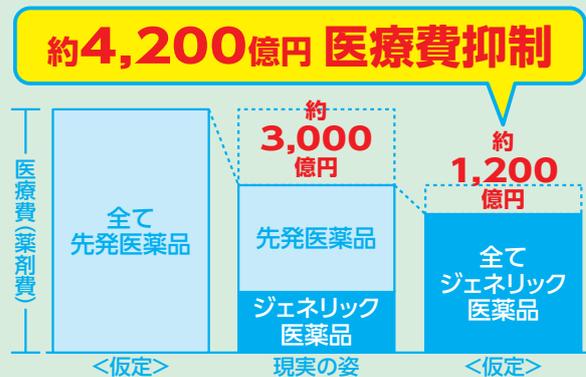
ジェネリック医薬品はさまざまな病気や症状に対応しており、飲み薬はもちろん、軟膏・クリームなどの外用薬、貼り薬や注射剤、点眼剤などがあります。

慢性的な病気などで薬を長期間服用している人や、複数の薬を服用している人などがジェネリック医薬品に変更すると、**薬代の節約の効果が大きくなります。**新薬を選んでいる方は、ジェネリック医薬品への切り替えをおすすめします。

## 医療保険制度を支えていくために

協会けんぽ加入の皆様がすべてジェネリック医薬品に切り替えると、合計約4,200億円(※)の医療費抑制が見込めます。ジェネリック医薬品の使用はご自身の医療費を安く抑えることはもちろん、将来にわたって日本の医療保険制度を維持していくことにつながります。

※令和元年度協会けんぽ試算(図はイメージ)



ジェネリック医薬品への切り替えをご希望の方は、まずは医師、薬剤師に相談しましょう。

# わが社の健康経営®

このコーナーでは、青森支部に健康宣言をご登録いただいている事業所様の健康に関する取組をご紹介します。  
「健康経営®」は、社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む経営スタイルのことで、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 今月の事業所様

## 大畑振興建設株式会社 様

事業所所在地：青森県むつ市 従業員数：38名 事業内容：総合建設業

### 取組内容

毎日の心と体の健康チェックをかねて、朝礼時にラジオ体操を実施しています。作業環境、職場環境のよりよい改善の為、敷地内を全面禁煙としました。職場でも家庭でも健康でいて欲しいとの思いからの取組です。



### 取組のご感想を伺いました！

朝礼時のラジオ体操は、一日の活力になると好評です。

敷地内全面禁煙の実施は、受動喫煙の心配がなくなりました。従業員の高齢化が進んでおりますが、まだまだ元気に働いて欲しいので、色々な取組に努めます。

## 今月の事業所様

## 社会福祉法人 千年会 様

事業所所在地：青森県弘前市 従業員数：51名 事業内容：障害福祉

### 取組内容

一例として、2019年の喫煙率28%を2022年に20%へ減らすため、健康経営目標を設定し健康増進手当の支給やポスターなどによる啓発を行い、禁煙推奨の取組みで、従業員の健康リスクの低減にも努めています。



### 取組のご感想を伺いました！

従業員が健康であるということは、人生における幸福であり、事業所の財産でもあります。今後も青森県健康経営認定制度や健康経営優良法人認定制度などを活用し、より豊かな人生に向けた取組を継続して行きます。